

タウンミーティング2019 寺井会場

2019.4.11 (木) 19:30~20:50

寺井地区公民館 大ホール

○ 参加者 市民 約45名

○ タウンミーティング議事録

【市長開会あいさつ】

昨年の冬は雪が多く、春が来るのかと思うくらいだったが、今年は桜が開花している。市役所周辺や和田山は桜がきれいです。足を運んでご覧いただきたい。

第1回目のタウンミーティングは今年度の予算の説明をさせていただき、いろんなご意見を頂戴できればと思っている。

【市長 市政方針・主要施策説明】

(1) タウンミーティング開催状況と施策への反映状況

2017年度は24回、昨年は19回開催している。たくさんのご意見ご提言を頂戴し、事に反映してきた。里山イノベーション事業や、認定保育園のあり方を考えて欲しいという意見を頂いた。ビジネスホテルが欲しいという意見や防犯カメラ設置を補助して欲しいという提言等を頂き、これを今年度の予算に反映している。タウンミーティングで一番意見が多かったのみバスについては、見直しを図る準備ができている。産業団地、雪害対策等、いろんなご意見ご提言を頂き、予算に反映をさせている。

(2) 人口変動

4月1日現在で50,053人です。1年の中程に50,300人まで増えたことがありますが、いつも3月には大幅に減って、49,000人台までに落ち込んでいた。合併来初めて5万人台で新年度を迎えた。昨年の4月に比べて132人増えている。そして、外国人も1,318人で、昨年度に比べて大幅に増えている。今後、心配なのは出生数で、昨年度は341人で、減っており、お亡くなりになった方は増加している。また、転入者が転出者を上回り、増えている。

気になるのは出生数と、小中学校に入学する新入生の数で、小学校では551人卒業し468人が入学、中学校では552人が卒業し537人が入学で、少子化が能美市内でも顕著に現れてきている。平成22年に市内の小中学校に入学した子どもの数の合計が3,343人。これを100とした場合、平成30年の児童数は3,048人で減少している。石川県全体と比べると落ち込みは低いですが、子どもの数が減少している。

今年の市内小学校入学者数については、生まれた時に432人であったのに対し、入学時には468人と増加しており、移住者によるものと思われる。全体的にはやはり少子化

が進んできているため、さらに移住定住を促進していかなければならないと感じている。

(3) 2019 年度予算

一般会計で 225 億円で、前年度と比較して 0.6%減。ほとんど前年度並みの予算となっている。能美市を取り巻く環境は、まずは人口減少問題、高齢化、人手不足が顕在化している。自然災害（大雪、大雨、台風、火事）、アセットマネジメント、認知度・知名度をどう上げていくかが課題である。

今年度の予算は、5つの施策、2つの方針で構成し、全ての施策と方針の成果として移住定住の促進につながるよう取り組んでいくこととしている。5つの施策とは、子育て・住環境の充実、産業振興・企業誘致推進・人手不足対策、交流人口の拡大、教育力の向上、安全安心のまちづくりで、それをシティプロモーションと行財政改革を進めていき、移住定住の促進を図ろうというもの。

また、のみバスの運行を大幅に再編する計画をしている。プランは出来上がりパブリックコメントも終わった。運行開始まで約1年かかる。国土交通省に申請をしたり、実際にルートを走ってみたり確認に約1年を要する。2020年春のスタートを目指して準備が始まっている。平日の日中は1時間に1本必ずバスがくる。毎時同じ時刻に発車するダイヤになる。また連携バスに特急便を設け、循環バスにも里山ルートをつくる。そして、最終便の発車時刻を延長する。これは特に能美根上駅からの発車時刻の延長になる。鉄道・路線バスとの乗り継ぎ時間、連携バスと循環バスとの乗り継ぎ時間の短縮を図る。土曜日、日曜日に観光施設に停車するバスを1系統増やす。それから、最近外国人がたくさん乗っているということで、車内のバス停案内は英語表示にする。

(主要事業の概要説明)

- ・里山イノベーション
- ・定住促進助成 など。

市民の皆様、地域の皆様のお力添えを頂きたい。市民力、地域力、ふるさと愛の醸成に努めていく。ご理解とご協力をお願いしたい。

【意見交換】

1.スポーツ振興について

(市民)

- 来年、東京オリンピックが迫っている。スポーツの気運が盛り上がってきている。市として具体的にそのことについて考えはあるか。

(市長)

- オリンピック・パラリンピックを活用している様々な取り組みがある。その一つが合宿誘致。誘致するにあたりいろんな競技があるが、市内で施設が充実していないと結果的に経済効果が生まれにくい。あるいは誘致できるような人脈がないと実現できないということで、競歩に絞って取り組んでいきたいと考えている。

(市民)

- 今年、ラグビーのワールドカップが熊本で行われる。能美市には県立ラグビー場がある。その各代表選手が事前合宿に来るとか、7人制ラグビーが大変盛り上がっているの、その大会も近々あると聞いている。誘致活動もやっていけばいいのではないかなと思う。ラグビー場は平常あまり使われていないようなので、ラグビーの合宿の誘致を考えてもらえれば、能美市の宿泊施設も使われていくことになると思うし、またジュニアの講習会も途中で開いていったらどうか。

(市長)

- ラグビーの合宿を誘致するとなると、1面では足りない。何面かないと誘致できないということもわかっていて、能美市にある施設だけではワールドカップのチームの合宿を誘致するというのは難しい。その一方で、ラグビー場の使用頻度はかなりあり、ほとんど空きがない状態にある。5月に女子ラグビーの合宿で来てもらえることになっている。ワールドカップに出るような大きなチームでなくても、この事例を見据えて、今後は、こちらで合宿ができる規模のチームをターゲットに絞って取り組んでいきたいと考えている。

2.空き家対策について

(市民)

- 移住定住の促進を市長は頑張っているが、市内に住んでいる持ち家でない方、つまり流動的な方にも空き家を使った定住を促してはどうか。いろんな助成金があって、外から来る人は最大で170万円の助成があるとなっているわけだが、外からくる人よりも、市内で空き家をリフォームをして住むというモデルケースをつくってはどうか。それを聞きつけた人が入ってくるということも考えられるのではないかな。外から迎え入れるということに注力しているが、足元をみて戦略をとると初期投資も少なく済むのではないかな。

(市長)

- 実は、空き家を別の方に売ってもいいという方が少ない。何らかの理由で持っていたという方が多かったり、空き家を改修し住むまでの費用が大幅にかかってしまうということもひとつ。もうひとつは、空き家バンクに登録されるケースも少ない。その背景にはこの家が空き家ということが周知されてしまうと別の危険が及ぶということがあって、空き家であるということをオープンにできないという事情もある。そのミスマッチングをどうするのかをこれから考えていこうと思っている。
- 空き家調査の情報を整理し、皆さんにフィードバックしたいと思っている。今回調査をした最大の理由というのは、活用もあるが、昨年大雪の時に、輪島市で一斉に断水をした。空き家の水道管が破裂したことを誰もわからずに、輪島市全体の水量が下がって断水となった。まずは、空き家のもたらす危険度をさらに軽減しようということで皆さんにご協力を頂いた。ご提言のような需要がないのか、またミスマッチをどうしていくのか、皆さん方と相談をしながら、空き家の利活用にも取り組んでいきたい。

(市民)

- 他の市町村では空き家バンクがホームページにたくさん載っているところもあるが、能美市のホームページでは物件が極端に少ない。載せたくないという方が特別に多いのか。

(市長)

- 実際には不動産屋がもっている物件のほうが多い可能性がある。能美市でも利活用を積極的に進めていきたい。

3. シティプロモーションについて

(市民)

- シティプロモーションについて、市の知名度・認知度を上げて、移住定住に繋げていくということで、市民もPRの一翼を担って欲しいということだが、ふるさと愛の醸成のツールとして Song Of Nomi を口ずさんでいただくことによって繋がるのではないかと思う。能美市老人クラブ連合会の寺井地区の総会で大正琴グループの方に3曲弾いてもらった。Song Of Nomi を弾いてもらったかどうかと試してみたら、楽譜はどこにあるのかとのことだった。そういうグループや、吹奏楽部の生徒にもマスターして演奏してもらったらふるさと愛の醸成に役立つのではないか。
- のみ検定の受験者数が減っているそうだが、合格者を観光ガイドに育てるというシステムをつくってはどうか。山形県の鶴岡の観光ガイドに案内をしてもらったことがあり、

地元の方との交流や触れ合いになる。シティプロモーションの一翼を担う方策を広げてもらいたい。

(市長)

- おっしゃるとおりで、Song Of Nomi は市の主催する行事で必ずBGMとして流したり、できるだけ皆様方に使っていただけるような仕掛けをしているつもりだったが、今後、さらに親しんでいただけるようにしたい。
- のみ検定について、受験者数が少なかったことのひとつに、勉強してもなかなか合格しづらいのではないかとということがあった。勉強資料が広範囲であり、試験も難しいため、今年度は資料をある程度特定するようにしたい。それと、検討中だが試験を上級と初級に分けて広く周知できないかと考えている。観光ボランティアにもつなげられるような事業にも育てていきたいと思う。

4.市職員の資質向上について

(市民)

- 市の職員の資質向上について、市の活性化のため、考えていった方が良い。

(市長)

- 常日頃から職員も現地現場に行きたくて欲しいと言っている。この2年間でだいぶ変わってきていると思う。また、来庁される市民へのサービス向上のため、接遇マナーを習ったり、身なりのマニュアルを作成した。笑顔のバッチをつけて気運を高めるなどやっている。アンケートではお褒めの声もあり、さらによくしていきたいと思っている。

5. 市役所玄関について

(市民)

- 市役所へ正面入口からほとんど入らない。立派になっている。正面から入るように考えて欲しい。駐車場を変えないとダメでないか。
- 市役所正面玄関の前に駐車場をつくる件は、見積りを取ったこともあるがとても高かった。正面玄関から入ってもらえるように、九谷焼や観光大使のパネルを飾ったりしているが、なかなか使ってもらえていない。もう少し工夫をしていきたい。

6. 国際交流について

(市民)

- 3月議会でも質疑応答があったが、能美市国際交流協会設立の趣旨や目的を聞きたい。また、国際交流の管轄が教育委員会だったのが産業交流部観光交流課に移管された目的はどのようなことか？

(市長)

- 石川県国際交流協会から仕事の依頼が来た場合、他の市町は組織として仕事をうけている。ところが能美市の場合は、ボランティアの方のみで事業をやってきた。市として組織を設けて対応していかなければならないだろうということで、今回能美市国際交流協会という組織を新たに立ち上げた。担当を生涯学習課から変えたということについては、今まではどちらかというと学校現場を中心とした国際交流をやっていたが、今、能美市の中では外国人が大変多くなっている。それはJ A I S Tの学生さんや働く人が増えて、ずいぶん様変わりした。それから、寺井地区公民館に国際交流協会の事務局を置いた。外国人の様々な需要を満たし、市と連携し一元化させて対応できるように、寺井庁舎にある産業交流部に担当を変えた。

(市民)

- 国際交流連絡協議会があって、4つの協会が所属している。市国際交流協会が設立されることによって、連絡協議会が解散されるのではと聞いているのですが、今後協議会がどうなるのか聞きたい。

(市長)

- 私のところにはその情報は入ってきていない。職員に確認し、報告します。

7. クアハウス九谷について

(市民)

- 今後、クアハウス九谷はエイムが経営して建物を建て替えると、市の方から今のクアハウスの利用料金から大幅に変わることがないように要望を出していると聞いている。そこから先の状況がわかれば話せる範囲で聞きたい。

(市長)

- 現状では、お話しできる材料はまだ持ち合わせていない。今から打合せをしながら決めていく。わかり次第、地元の方、会員の方にきちんとお話しする機会を設ける予定だ。

8.観光大使について

(市民)

- 宝塚出身の大月さゆさんなど観光大使がたくさん任命された。その中で芸能をやっている方達で、タントで歌謡ショーができたらいいなと思う。

(市長)

- 有難いご提案です。そんなことができないか考えている。アットホームタウンフェスタで、今年のプログラムにできないか考えている。

9. ふるさと愛の醸成について

(市民)

- 広報のみで各町会長が集落について思いを書いている。それぞれのふるさとへの思いとのマッチングができればよいのではないかと考えている。
- タウンミーティングの参加があまり多くないが、まちがどうあるべきかという考えを市長に届けられればより市政が良くなるのではと思う。職員と意見交換できると住民の思いが市政に反映できるのではないかとと思う。

(市長)

- まちの隠れた魅力を発信してもらいたいという思いの中で、広報のみで「わがまち自慢」の企画を始めた。今年度はふるさと学び塾という事業の計画をしている。まちの隠れた魅力をつアターで訪ねてもらおうという事業で、そこで市の取り組みとして皆さんのふるさとへの思いとつなげられないかと考えている。また、町会長の連載は再来月で一巡する。次を考えているが、ご意見があればお聞かせいただきたい。私の思いは、公民館長や頑張っている女性に出てもらって違った観点で町を紹介してもらおうようなページとしていきたいという思いをしている。
- 町会・町内会とは出前講座や福祉の関係でつながりがあるので、そのつながりを共有しながら、市政に反映をさせていけたらという思いでいる。また、町の行事にお招きされて出向いて、ひざを交えて話をさせてもらっている。テーマ別でやるということで、違った観点で町の事情や見方を変えた形で提案をもらうことで、市政に反映し厚みをもたせていきたい。

【市長閉会あいさつ】

長時間ありがとうございました。いろんな課題があり、実際には少子化が顕著に進んでいる。それは、今の能美市の勢いがあるうちにやっておかないといけないという思いがあって、できるだけスピード感をもって前倒して進めていきたいという思いがある。スピー

ド感をもってやればやるほど、皆様方との意見交換がより大切になってくるということも常々自負している。タウンミーティングだけでなく、いろんなご意見ご提言を私や職員まで頂きたい。